令和7(2025)年2月10日発行　第164号

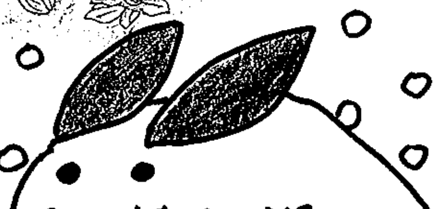
こびとのおうちえん Letter 2月号

ばななおにと こおりおにを合体させた「ばななこおりおに」を(とうや)が思いついたから やってみたい！と言う。ばななおには つかまった人が仲間に2回タッチしてもらったら逃げられる。こおりおには、1回タッチしてもらったら逃げられる。つまり、ばななこおりおには、3回タッチされてはじめて逃げられるのだ。これは大変じゃない？と思ってたら、なんだか やってる子たちが おもしろがって、これがけっこうはやっている。私もさそわれて やってみたら、ホントなんかいいね。これも。あそびが うまれるのって うれしい。
(とうや)は、思いついたことをすぐに やってみるから すごくすてき！
あたらしいアイディア 楽しい～♪　2月は、さらに、いろんな子が跳びだして、なわとびブームが来そう。

・1月はこんなことしました・

- 大野八幡宮に初もうで
- せきいも、やきみかん
- 大なわとび
- なわとび
- おみくじ作り
- ビンゴ
- 川でダム作り
- 山の広場でおちばあそび そりすべり
- 赤子山縦走
- にわとり小屋のそうじ
- 山でけいどろ、バナナおに
- 雪さがし(雪だるま作り)
- しし汁づくり
- こおりさがし
- 棒パンづくり
- がび山を歩く
- 岩ヶ浦であそぶ
- バナナこおりおに
- ホットみかんジュース作り
- 大王様の木に行く
- 身長木を切る
- 田布施の街探検
- (行者山にものぼる)
- 白菜の漬けもの作り

etc.



9日 やましたかほちゃん(5さい) おたんじょうび おめでとう!!

2月のスタッフプラン

- 干しいも作り、たくわん作り
- いっぱい体を動かそう！

28日(金) おべんとうのひ 防府市天神山へ行こう
※おべんとうの準備よろしくおねがいします

おむすびの日…7.14.21日(金)
おむすび よろしくおねがいします!!

2月のペアレンツグループ

20日(木) 13:00-15:00
場所 もみじのいえ
内容「わたしってどんなひと？」
※参加される方は事前に連絡下さい。当日の朝でもOKです。

＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。
今月は、お休みします。

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ー1月のあれこれー

風がつよく冷たい1日だった。
でもこどもたちは元気元気！
下グラでけいどろ9人の子どもたちと ももちゃん、よっこで行く。
しいの木でしいのみひろいしてる子らに
(あみ)「もうバナナおにしよ！」
(とうや)「もう行こう！」
と促している。
グランドに行くと…先約が…
たこ上げをしている母子がいた。
お母さんが1人でたこ上げに夢中になっていた。めっちゃ高くあがっている。
これは… どうするか？ こっちが入っていくのはないな…。そして、どうするか？と話し合いになった。
(ふう)が大野八幡宮まで行こう！と提案した。
それで、じゃあそうしようか…としてたら そのお母さんがくるくる糸をまき出した。それで、もう少し待つことに。
そして、「使っても大丈夫ですか？」とたずねると「はい」と言ってその母子は立ち去っていった。
おー、よかったねーー！　そしてけいどろがはじまった。
バナナおにもやった。よく走るー！(なおと)がよく走るし、たすけるのも上手くなってる。バナナおにで(けいご)(さゆき)よっこが おにをしたときに全部つかまえたから、ももちゃんがリベンジしたい！」と言った。(とうや)「オレ、けいどろしたい。」
(ふう)じゃあ、まずけいどろやって、次リベンジは？」そうやってけっこう話し合ってるかんじがすてき。(あみ)もよく走ってるー。

→帰り道、(とうや)が「カピバラくんおいで」って言って。
と言う。それで「カピバラ君おいでー」と言ったあとに「カピバラって世界一でかいねずみよね」と言うと、(けいご)がこれくらい？と両手で30cmくらいを表現。
わたしが、いや、もっとくらいの大きさじゃない？と言ったら、えーっ！そんなにでかい??となり、動物図鑑を見ることになった。1.2mとかいてある。私よりは小さいか…。でも図鑑ではイメージしづらいね。私は今、カピバラが見たい。
(みお)(りか)(かほ)(ちほ)とたいがは、むかごさがしのさんぽに行ってた。まだあるらしい。
午後、(かほ)(ちほ)(りっか)がエンにあげるドングリをひろっていた。(かほ)はどんぐりをひろうのがめっちゃ早い。
「お正月だからね、ごちそう」って、「エンちゃん丼」を作っていた。はっぱとかもちぎって皿にのせている。
そしてエンにあげに行ってた。
ふりかえりミーティングのとき、(きよひと)が(下グラでふってきたのが)「雪か雨かわからんかった。雪が来てくれてうれしい。」と言った。(1/7)

朝、おうちえん横の水道のとこにあるタライにたまった水がこおってた。(うた)が両足でのっても割れない！(ゆずき)がかなづちを持ってきて割った。厚いねー。(ちほ)がさわって遊べている。
今日はおむすびの日。山ですごす。さむくてあったかいのがほしいから、山の広場でしし汁を作って食べよう。しし肉をももちゃんが持ってきてくれた。しし汁を作りたいのは、(うた)(なおと)(きよう)(ゆずき)。おやつで材料切ってから山の広場で火をたいて仕上げる。(なおと)上手に野菜を切ってたそう。今日は(うた)が火をつけた。
山の広場では、ソリあそびがもり上がっていた。(りっか)(きよひと)(うた)(ふう)(かほ)(けいご)…じゃんじゃんすべっている。1人のり、2人のり。ソリは、たっぷりためた落ちばに向かってすべっていく。私は山たんけんしたいなと思って、行きたい子を募る。(けいご)(ふう)(きよひと)(あみ)(さゆき)が一緒に行く。そして、この前たいがと山の中でけいどろした場所につれていってあげるといって、どんどん斜面をおりていった。すごい下の方行ってるねー。そして、ここでやった、と。ここ昔来たことある場所だった。今、4、5年生になってるメンバーと。そして、こんなとこでけいどろしたん?!とおどろく。ほぼ平らなとこないやん。斜面をのぼってにげたり、タッチしたりしたみたい。すごい…。近くにはつるの木がいっぱいでのぼってあそぶ。そしてまた上って下ってして。倒木を一本橋にしてそろりそろりと渡るのを楽しんでいる。またのぼる。そしたら、おじいちゃんの木の近くに出た。(ふう)が「こっちに行ったら森のホールだ！」と言って、山の広場とは反対方向なんだけど、そこへ寄りたいと走る。みんなついていく。森のホールで(ふう)(さゆき)が前に出て、私(きよひと)(あみ)(けいご)が客席にすわる。(ふう)(さゆき)がでっかい声で「北風こぞうのかんたろー」を熱唱して笑う。それから山の広場に戻った。途中、おばあちゃんの木が折れてたおれていた。立ち枯れていたので、いつかはこうなるかもと思ってたけど、なんだかせつなかった。おばあちゃんの木しんじゃった…。よしよししてありがとうって言った。こどもたちもなでなでしてた。この木は、今までいた子たちがずっとのぼってあそんでいた。(あみ)はそうとうこのことが心にのこったようで、いろんな人に報告していた。山の広場でおひるごはん。しし汁があったかくておいしくてしみるー。おにぎりも大事に食べていた。午後は大なわとび、走っておちばにダイブ！おひめさまごっこ、たき火などしてすごした。(1/10)

ももちゃんのコーナー

『君のパワーになあれ♪』という歌にはまっている。朝のミーティングで歌って、最初は、いい歌だなーというくらいだったんだけど、もう歌うたびにどんどん好きになっていく。朝からみんなと一緒に大きな声で歌うのがとっても気もちいい。
息子の泰陽が高校受験を控えている。結局この3年間は、ほとんど学校に行かず、机に向かってする勉強は、してこなかった。試験の科目は面接と作文だけ。でも、まとまった文章を1度も書いたことがないどころか、漢字もほとんど書けない。時々「作文の練習はしているの？」と聞いても、「うーん、まあね～」みたいな返事。本人にやる気が無いのに言ってもしかたないよな、と思ったりしていた。
それが、インフルエンザで何日か寝込んでいる時に、どうにも気になってしかたがなくなった。こんなに毎日時間があるのに、なんで作文の練習をしないんだろう。(リールを分解して掃除したり、ボートを改造したり、おやつを作ったり、暇にしているわけではない)緊張もするだろうから、ぶっつけ本番で書けるわけがない。どうするつもりなんだろう？布団の中で意識がそこに集中してしまって、気持ちが落ち着かない。
なぜ私はこんなにやきもきしているのだろう、とよくよく考えてみる。中学を卒業するから次は高校へとも思っていないから、別に落ちてもいいと思っている。だけど、目的があって、自分で高校に行くと決めたのだから、やる時はやりなよ、とか。苦手なこと、嫌なことから逃げているだけなんじゃないか、そんなことで、この先やっていけるのか、とか。私の期待しているようにしないから、気に入らない？とか。もっと私がしてあげられることがあったのではないか、などなど。
言葉にするのって大事だ。上から目線で傲慢な自分に気づく。見る角度を変える。彼の課題と自分の課題を切り離す。私の真ん中を確認する。親とか大人とか人生の先輩(!?)とかを脇に置いて、息子とか子どもとかではなく1人の人として彼を見る。楽しい日だけでなく、持て余す日も、心や体が動かない日も、彼は毎日、自分を生きているよなあ。経験して、感じて、味わって…全部、泰陽の人生なのだ。
熱が下がって、久しぶりに畑に行って、思いっきり「みんな君のパワーになあれ♪」と歌った。泰陽や受験を控える同じ年のKやおうちえんの子たちを思って歌った。2番の歌詞が沁みた。みんなから吹いてくる風から私はたくさんのパワーをもらってる!!　私は私の人生をしっかりと生きよう。

土屋 百代